

事務事業評価シート

評価対象年度 平成 19 年度

【事務事業の基本的事項】

事 務 事 業 名	花いっぱい運動推進事業費				
担 当 課 係 名	生涯学習課		生涯学習係	作成者	石郷岡宗幸
総 合 計 画 で の 位 置 づ け	施策の大綱	明日を担う人材を育む教育文化のまち			総合計画の ページ
	基本計画	生涯学習の推進と社会教育施設の整備			
	主要施策	花いっぱい運動の推進			96
予 算 費 目	一般会計	会計	10 款 教育費	5 項 社会教育費	1 目 社会教育総務費
事 業 期 間	平成 19 年度 ~ 平成 年度		新規 / 継続の区分		
性 質 区 分	☒ 市民サービス ☐ 公共事業 ☐ 施設維持管理 ☐ 補助金 ☐ 内部管理				
根 拠 法 令 等					
事 務 区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務				
運 営 方 法	☐ 直 営 ☒ 直営（一部民間委託） ☐ 民間委託(全部) ☐ 補 助				

【事務事業の実施内容】

事業の対象 （誰のため・何を）	国道105号線を利用する市民、観光客、中、長距離ドライバー等
事業の目的・意図 （どういう状態にしたいのか）	花いっぱい運動を通じて花や自然をいつくしみ、家庭と地域の融和を図りながら心通う地域社会を目指し、訪れる人々を花でもてなすことを趣旨とする。
事業の内容 （どのような業務、活動を行うのか）	7月第1日曜日、国道105号沿い9.2km（西木町堂村～西荒井間）にマリーゴールド約5万本を植栽する。集落、学校、保育園各施設内に4万本配付し植栽している。

【事務事業の推移】

（単位：千円）

項 目		単位	18年度実績	19年度実績	20年度実績
効果	活動指標	マリーゴールド（国道植栽分）	本	50,000	50,000
		マリーゴールド（各施設植栽分）	本	40,000	40,000
	成果指標	マリーゴールド（イエロー・オレンジ）	本	90,000	90,000
投下コスト	項 目	総事業費	18年度決算額	19年度決算額	20年度決算額
	事業費（人件費を除く）(A)		3,413	3,154	
	財源内訳	国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
		一般財源	3,413	3,154	
	人件費 (B)	—	1,963	2,018	
		職員数	—	0.25	
		職員平均人件費	—	7,853	8,071
	(A) + (B) 投下コスト	—	5,376	5,172	
単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)	—	108	103	
		—	134	129	
	市民1人当たりのコスト(円)	—	169	165	

【事務事業の今までの成果】

毎年、5月上旬に道路花壇施設整備事業をシルバー人材センターと委託契約を結び、除草、床づくり育苗、後片づけまでお願いしている。また、2農家へ一斉植栽の苗（正植用）と（補植用）を育苗し一斉植栽の7月第1日曜日に、西木地区住民、団体、職場、小学生、中学生の方々からご協力をいただき延べ9.2kmにマリーゴールド（イエロー・オレンジ）を植栽し、花が咲くころには、国道105号行き交う人達を和ませている。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	仙北市総合計画の主要施策にあがっている。
事業に対する市民の意見 （事業に対する期待、要望、苦情等）	西木地区住民の多数の参加と、事業の継続を要望。

【一次評価】

判 定	事 業 の 方 向 性		判 定 に 至 っ た 理 由
A	A	現状のまま継続（実施）	地域のコミュニケーションづくりを目標としているため1世帯1名の参加を図り継続とする。
	B	見直しの上で継続（実施）	
	C	大幅な見直しの上で継続（実施）	
	D	休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	

一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

地域住民総出で同じ目的に向かい花を植栽することによる奉仕活動、体験交流の場となっている。

【二次評価】

判 定	判 定 に 至 っ た 理 由
A	家庭と地域の融和を図りながら心通う地域社会を目指し、生活環境の美化の充実させるためにも、引き続き事業推進が必要と考える。

一次評価診断図

